



「高温性ピシウム属菌」を簡易・迅速に 検出できる技術の商品化

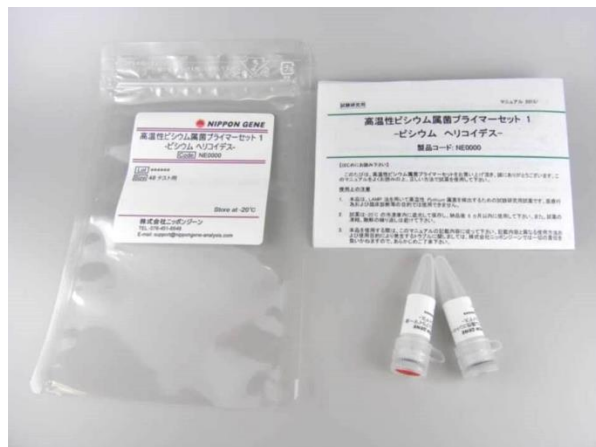
開発の背景・ニーズ

高温性ピシウム属菌は、養液栽培の野菜や花き類に被害をもたらす病原菌です。これらの3種類の高温性ピシウム属菌は、養液を介してすばやく施設全体に広がるため、発見が遅れると大きな被害を引き起こします。そのため、施設栽培の現場では大きな問題となっており、その解決が求められています。

成果の内容

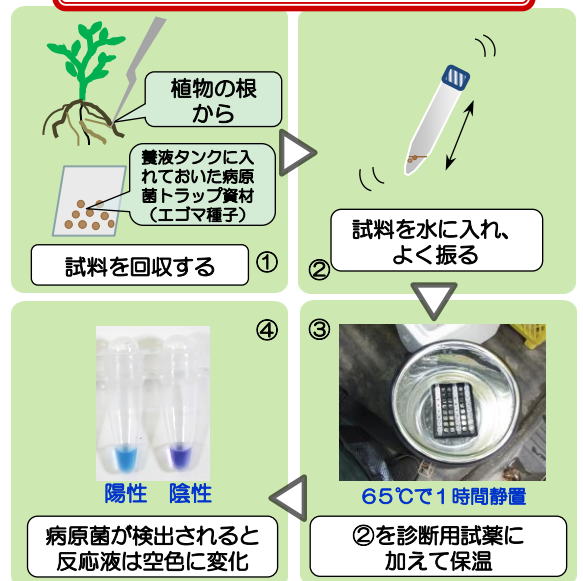
農業総合試験場では、この病原菌を簡易かつ迅速に検出できる技術を開発し、現場で農家が利用するための商品化に取り組みました。その結果、この技術を用いた診断技術が、株式会社ニッポンジーンから「高温性ピシウム属菌プライマーセット」として平成27年7月に商品化されました。このセットを用いた診断は以下の優れた特長を持っています。

- ・ 簡易な器具のみを用いて、1時間程度で識別できます。
- ・ 検査結果は、目で見て判定することができます。
- ・ 短時間で、3種類の高温性ピシウム属菌をそれぞれ検出できます。
- ・ 農業現場において、誰もが診断できます。



商品化された高温性ピシウム属菌
プライマーセット

高温性ピシウム属菌の簡易検出法



愛知県農業への貢献

本技術を利用することによって、生産現場において簡易・迅速な病原菌の検出を行うことができます。その結果、病害の早期発見、早期対策が可能となり、養液栽培の野菜・花き類の安定した生産が可能になります。

【本研究は、「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」で実施しました。】